

# 子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

※「国の天然記念物長瀬渓谷ハイキング」と「もみじの観察会」

※地区名(埼玉県)・地区委員氏名:高杉 茂・指導者グループ代表者氏名:久保 雅春

## 【事業のポイント】

(活動項目・ねらい等)

- 国の天然記念物である長瀬渓谷を歩き、自然の素晴らしさを満喫し、心身のリフレッシュを図る。
- 歩行距離、約8kmを歩くことにより、体力の増強を図る。
- 地球の窓、地質学の発祥の地と言われている長瀬渓谷の生い立ち・歴史を学ぶ。
- 日本に自生しているカエデ27種類のうち21種類が自生している埼玉県で、カエデの葉の形などを観察し、自然



## 1. 事業の趣旨

### 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして、主体的に目標達成に向かって活動できるように企画され、地域を担う人材の育成につながる、全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む。

## 2. 実施概要

・参加者数は子供の人数を記入 ・経費の内訳は振替伝票及び支出証拠書類添付

開催実績					
月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
11月22日	長瀬渓谷	6			「国の天然記念物長瀬渓谷ハイキング」と「もみじの観察会」
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

#### 具体的な取組の概要

午前9時に長瀨駅前集合し、受付で健康確認を実施。事前アンケートを記入の後、WCを済ませて頂く。その後全員集合し、開会式を実施。埼玉会会長池田氏の挨拶、スタッフの紹介、コース説明、注意事項の説明、準備体操をし、ハイキングスタート。長瀨岩畳・秩父赤壁・ポットホール・クヌギ・溪流植物などを見学しながら長瀨溪谷の生い立ち・歴史などを学ぶとともに、「どんぐりころころの話」を楽しみ、自然の博物館まで移動。自然の博物館のカエデの森で、もみじの観察会を実施し、カエデの葉の形などを観察し、カエデの葉の標本を作り、自然の不思議を学ぶ。アカマツのところでペットボトルに入った松ぼっくりから植物の生きる工夫について学ぶ。紅葉するもみじの下で昼食をとり、心身をリフレッシュ。荒川の河原へおり、石投げを体験。親鼻橋で紅簾石片岩を見学し、自然の力に感動。対岸から長瀨岩畳を見下ろし、村の鎮守春日神社の横を通り、昔の人の生活を偲ぶ。蓬萊島公園で休憩後、金石水管橋の上から紅葉する荒川の素晴らしさを体感。長瀨駅まで、約8kmを歩き、心身のリフレッシュ及び体力の増強を図った。又、子どもたちが埼玉県にもこんな素晴らしいところがあることを認識し、郷土愛を醸成。長瀨駅前で、事後アンケートを記入し、健康確認後、解散。

### 3. 成果と課題

#### (1) 事業の成果と課題

参加して頂いた子どもたちが心身をリフレッシュし、体力を増強し、自然の素晴らしさを満喫し、埼玉県の郷土愛を少しでも深くして頂くことが出来た。当初、参加者を小学校高学年に絞ったことで、高学年は日曜日にクラブ活動していることが多く、低学年の兄弟がいるケースがあり、高学年だけだと参加しづらい。又、長瀨は都心から遠いことから、交通費がかかり、移動に時間がかかること。途中、小学年低学年まで参加者の枠を広げたが、広げた時期が遅く、参加者の増員を図ることが出来なかった。今後は参加者を小学生高学年に絞らず、小学生全体とし、都心から近いフィールドを設定することにより、参加者の増大を図る。